

平成28年 年頭所感



東京都正札シール印刷協同組合
青年部部長 城 篤史

新年明けましておめでとうございます。

平素より当青年部の活動にご理解、ご協力を賜り謹んで御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国産初のジェット旅客機の成功、中国人観光客による爆買いやラグビーワールドカップでの日本代表の健闘など、明るい話題が有る一方、無差別テロなどの世界の情勢不安や建物の杭データの偽装など、様々な問題も起きました。我々の取り巻く環境は依然と厳しく、様々な企業努力が求められてきています。

昨年、私たち正札青年部は新たに3名の新入部員を迎えることができ、活発に活動を続けてまいりました。各部員、常に高い意識を持って積極的に活動に参加しています。

その中で私たち青年部が所属する印刷産業青年連絡協議会では、「印刷実験室」と題して2月に展示会イベントを行いました。「商売を忘れて印刷で実験して楽しもう」、というコンセプトで会員企業から集められた各展示物は、印刷の常識を覆すような発想ばかりで大変興味深いものでした。印刷のセオリーにとらわれない自由な発想が、手に取ったひとたちに驚きを与えている光景を見てみると、印刷加工物の可能性を大いに感じました。それら実験から生まれたものが、唯一無二の自社の特徴になっていくのではないかと思います。価格競争に巻き込まれない武器を備えることが、先行き不透明な時代を生きていくには必要と思います。

今年も若さを活かした自由な発想で、青年部だからこそできる意義のある活動を続けていきたいと思っておりますので、引き続きご指導よろしくお願いたします。